

ほぼ月刊 桑名歴史こぼなし

Vol.10 2019年12月1日発行 宮下遥選手特集号

編集・発行：©社会福祉法人 桑名市社会福祉協議会 文化スポーツ振興課 TEL0594-22-8311



＜スポーツ一家に生まれた宮下遥＞

バレーボールのセッターとして活躍する宮下遥（1994～、以下敬称略）は、桑名市若宮町出身で、平成6（1994）年9月1日に生まれました。両親はともに日立金属桑名工場（大福）に勤務し、父尚彦（1970～）はサッカーのゴールキーパー、母真紀は9人制バレーボールのスパイカーとして活躍し、妹諒子（1996～）もバレーボール経験者というスポーツ一家です。母は現在もママさんバレーの陽和チームでセンターをつとめ、妹も鈴鹿市内の中学校で教員をしつつバレーボール部の顧問をしています。平成7（1995）年11月、父が社宅を出て安永に自宅を新築したことから転居し、和泉保育園（和泉）に通いました。幼い頃は近所の十区割公園（安永）の遊具や砂場でよく遊んだといひます。

＜小学校1年生でバレーボールを始める＞

城南小学校（和泉）に入学した直後、桑名市スポーツ少年団「桑名つばさ」の団員募集を目にすると、母の影響もあって自分からバレーボールをやりたいと言いました。何事にもチャレンジする性格から1年生の間は津田スイミングスクール桑名校（東方）にも通いました。しかし、2年生に進級する際、団員減少が懸念されたことから四日市市の「西橋北のぞみ」に移り、4年生の3月に初

左側：宮下遥選手
（岡山シーガルズ提供）

下段左側・中央：幼児期の宮下遥
下段右側：平成11年10月30日
常信寺稚児行列（南寺町）
（いずれも宮下尚彦氏提供）



初めての全国大会となる**全国スポーツ少年団バレーボール交流大会**に出場しました。5年生になると強豪「**内部バレーボール少年団**」に入団して週6日の練習に通いました。平成18(2006)年3月、**東海小学校バレーボール連盟新人大会**で優勝し、6年生になった8月には**全日本バレーボール小学生大会**、平成19(2007)年3月には**全国スポーツ少年団バレーボール交流大会**に出場しました。

6年生のとき、**楠緑地体育館**(四日市市)のイベントに東洋の魔女と呼ばれた東京五輪金メダリスト**中村昌枝**(1933~2013、旧姓**河西**)が来館した際、居並ぶ子ども達を前に「オリンピックに出たい人はいますか?」という質問を投げかけたところ宮下だけが手を挙げました。中村は閉会時に「**金メダルをかけてあげたい子がいます**」と宮下の首に**本物の金メダル**をかけてくれました。実はここにバレーボール男子日本代表の**西田有志**(2000~)の兄**圭吾**(1993~)が参加しており、このエピソードは西田家から教えてもらいました。取材時に西田家が「**宮下さん家はずば抜けてすごかったです**」と絶賛していたことを伝えると宮下家からは「**西田さん家の方がすごいです。その言葉そのままお返しします**」という微笑ましいやりとりがありました。

また、平成18(2006)年11月19日、**中部日本放送(CBC)**の番組「**がんばれ!ペナキッズ**」に父とともに出演し、ペナルティの**ワッキー**(1972~、脇田寧人)とも対決し、3組の親子中2位になりました。ちなみに小学校卒業時には身長が170cmを超えており、卒業アルバムの「もし生まれ変わるなら」という質問には「**背の低い人**」と書いています。小学校ではバレーボール部がないため**バドミントン部**に所属し、運動会のリレーでは足が速いことからクラス代表に選ばれていました。3年生からは書道、英会話の習い事に加え、**公文教育研究会安永教室**(安永)に通って勉強にも励みました。毎日のように練習や習い事が続く中、宿題は休み時間や練習の行き帰りの車の中で済ませたそうです。当時から自分でやると決めたことは継続する強い意志を持っていたそうです。



<14歳でVリーグ選手、15歳で日本代表入り>

バレーボールに専念するべく様々な進路を模索し、6年生の夏に日本バレーボール協会（東京都渋谷区）が運営する**貝塚ドリームス**（大阪府貝塚市、平成25（2013）年3月31日解散）のトライアウト（選抜試験）に挑戦して合格していましたが、10月に福井市で行われたバレーボール教室に内部チームで参加したことが進路を決定づけました。そこに居合わせた**岡山シーガルズ**（岡山市北区）監督と大阪国際大和田中学校（大阪府守口市）総監督をつとめる**河本昭義**（1953～）の目にとまり、平成19（2007）年1月に同校の練習に招かれたのです。その際、「やりたいポジションはどこか」と聞かれて「**スパイカー以外ならセッター**」と答えたそうです。監督からは「お前の性格では一番なっていないポジション」と言われ、この一言で周りのことを考えることの大切さに気づかされたといえます。この問答は3ヶ月後のセッター転向へとつながることになります。

平成19（2007）年4月、**大阪国際大和田中学校**に進み、親元を離れて滝井駅（守口市）近くの**学生寮**に入りました。4月に開催された**北河内大会**3日前には突然ポジションをセッターに変更するよう指示され、結果としてこれが才能を開花させる契機となりました。8月には**第37回全日本中学校バレーボール選手権大会**に出場し、3年生では**主将**を務めて平成21（2009）年8月17～20日の**第39回大会**に出場しました。

平成21（2009）年5月、岡山シーガルズ（背番号14）に選手登録され、**史上最年少**の14歳8か月でVリーグのプレーヤーとなり、**第58回黒鷲旗全日本男女選抜バレーボール大会**に出場しました。10月、岡山シーガルズの**選手寮**（岡山市東区）に部屋をもらい、中学校卒業までは岡山と大阪を往復する生活が続きました。11月28日の**プレミアリーグ**（平成30（2018）年に**Vリーグ・ディビジョン1**となりました）開幕戦では15歳2か月で公式戦デビューを飾り、こちらも**史上最年少**記録でした。デビュー戦の久光製菓スプリングスとの試合では味方選手との接触により前歯2本を折りながらも試合を継続しました。気丈に試合後のインタビューに応じた後、家族には「**めっちゃ痛い**」と漏らしたそうです。

なお、チーム名称の「シーガルズ」はカモメを意味する英語で、もともとは「東芝シーガルズ」として昭和46（1971）年に創部し、平成11（1999）年5月の廃部後は監督河本昭義が「シーガルズ」としてクラブチーム化を進め、平成18（2006）年4月1日にホームタウンの地名を冠して「岡山シーガルズ」と改称しました。

中学卒業直後の平成22（2010）年3月23日にはバレーボール女子日本代表に選ばれ、15歳での代表入りを果たしました。4月に中学校と同じ大阪国際学園が運営する**大阪国際滝井高等学校**（大阪府守口市）に進学しました。

くわなれきしはなし

前頁上段左側：平成12年3月10日和泉保育園お遊戯会

上段中央2枚：なばなの里（長島町駒江）

上段右側：国営木曾三川公園（岐阜県海津市）

下段左側：4年生のときの海水浴（鳥羽市菅島町）

下段中央2点：3年生の西橋北時代

下段右側：平成17年3月の全国スポーツ少年団交流大会

（いずれも宮下尚彦氏提供）

本頁右側：岡山シーガルズエンブレム（岡山シーガルズ提供）



＜リオデジャネイロ五輪に出場＞

平成 22 (2010) 年 5 月の**第 59 回黒鷲旗**では新人賞にあたる**若鷲賞**を受賞、9 月の**第 2 回アジアカップ**では国際試合にデビューしました。平成 25 (2013) 年 3 月に高校を卒業すると、平成 26 (2014) 年のプレミアリーグ準優勝に貢献し、4 月 14 日に**プレミアリーグベスト 6 賞**と**敢闘賞**を受賞しました。これを受けて 5 月 8 日に桑名市役所の**伊藤徳宇** (1976～) 市長を表敬訪問しました。帰省時には**三井アウトレットパークジャズドリーム長島** (長島町浦安) で買い物を楽しんだそうです。同年 10 月の**第 69 回国民体育大会**と翌年 9～10 月の**第 70 回大会**では岡山県代表として 2 大会連続優勝し、平成 27 (2015) 年 2 月 20 日と平成 28 (2016) 年 2 月 19 日に**岡山県トップアスリート賞**を受賞しました。

平成 28 (2016) 年 5 月 21 日、リオデジャネイロオリンピックの予選で日本が出場権を獲得すると、6 月 27 日に宮下がオリンピック日本代表チーム「**火の鳥 NIPPON**」に選出されました。記者会見では「**自信を持って迷わずコートに立てるよう、しっかり準備をしたいです**」と決意を語っています。オリンピック出場が内定すると 8 月 1 日に**四日市市観光大使**に任命されました。

8 月 5 日にリオデジャネイロで**第 31 回オリンピック競技大会**が開幕し、6 日にはバレーボールの予選が始まり、日本は開催国ブラジルなどが属する**グループ A**となりました。初戦では**イオンシネマ桑名** (新西方) でパブリックビューイングが催され約 200 人が声援を送りました。予選は 2 勝 3 敗で 4 位通過して決勝トーナメントに進み、8 月 16 日の準々決勝で 3 位となるアメリカ合衆国に 3 セット連取されて敗れたものの、**5 位入賞**を果たしました。

上段：城南小学校卒業アルバムより、下段左側 3 枚：平成 21 年 8 月の全日本中学校バレーボール選手権大会 (大分県)、下段右側：キャプテンマークが付いた内部のユニフォーム (下段はいずれも宮下尚彦氏提供)



<帰国後の顕彰と現在までの活躍>

帰国後は各種顕彰がなされ、平成 28 (2016) 年 8 月 26 日に岡山県スポーツ特別顕彰、9 月 4 日に三重県スポーツ栄誉賞、12 月 11 日に岡山県体育協会体育栄誉賞、平成 29 (2017) 2 月 25 日に三重県体育協会優秀選手賞、3 月 13 日に同協会体育功労者特別賞を受賞しました。オリンピック後も平成 29 (2017) 年 5 月 7 日の第 66 回黒鷲旗でベスト 6 賞を受賞し、平成 30 (2018) 年には V・チャレンジリーグ I と V・サマーリーグ西部大会の岡山シーガルズ優勝に貢献しました。平成 31 (2019) 年 4 月 1 日には日本代表チームに選ばれ、東京オリンピックへの出場が期待されます。令和元 (2019) 年 10 月 20 日、V リーグでの出場試合数が 230 試合に達したことから V リーグ栄誉賞を受賞しました。また、地域貢献活動にも熱心に取り組み、平成 31 (2019) 年 4 月 12 日に岡山県警察から特殊詐欺根絶アンバサダーを委嘱され、街頭啓発活動にも参加しています。

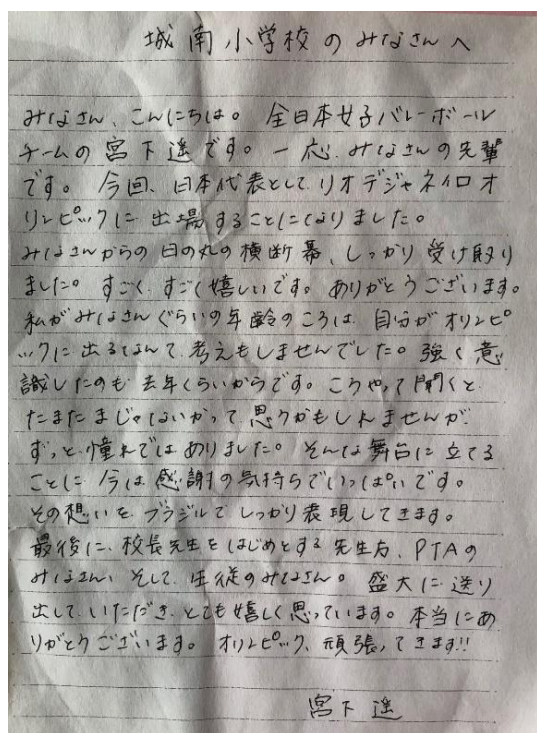
<宮下遥と城南小学校児童とのつながり>

平成 28 (2016) 年 6 月に宮下遥のリオデジャネイロ五輪出場が決定すると、母校城南小学校の PTA 会長から同窓生として応援したいとの提案があり、小島琢也 (1959～、現在は修徳小学校校長) 校長らの発案で、全児童で応援旗を制作することとなりました。一枚の大きな旗を十二分割して全クラスごとに応援メッセージを書き込み、完成した応援旗は 7 月 20 日の終業式に両親を招いて手渡されました。応援旗は自治会が作成した日の丸とともに壮行会が行われるグランドプリンスホテル高輪 (東京都港区) の選手控室にいた本人のもとへと直接届けられました。後輩たちからの思いがこめられた応援旗を受け取った宮下遥は大会前の多忙な時期にも関わらず直筆の礼状に旗を広げる自身の写真を添えて児童たちに送りました。まさに思いが伝わったのです。

右側：宮下遥から送られた直筆の礼状

下段左側：平成 28 年 7 月、グランドプリンスホテル高輪で手作り応援旗を持つ (城南小学校提供)

下段右側：城南小学校 1 階に飾られる写真と記念皿



「城南小学校のみなさんへ みなさん、こんにちは。全日本女子バレーボールチームの宮下遥です。一応、みなさんの先輩です。今回、日本代表としてリオデジャネイロオリンピックに出場することになりました。みなさんからの日の丸の横断幕、しっかり受け取りました。すごくすごく嬉しいです。ありがとうございます。私がみなさんぐらの年齢のころは、自分がオリンピックに出るなんて考えもしませんでした。強く意識したのも去年くらいからです。こうやって聞くとたまたまじゃないかって思うかもしれませんが、ずっと憧れではありました。そんな舞台に立てることに今は感謝の気持ちでいっぱいです。その想いをブラジルでしっかり表現してきます。最後に校長先生をはじめとする先生方、PTAのみなさん、そして生徒のみなさん。盛大に送り出していただきとても嬉しく思っています。本当にありがとうございます。オリンピック、頑張ってきます！！宮下遥」

この手紙は8月の登校日に披露され、こどもたちは大いに喜んだといいます。さらに大会終了後には再び宮下遥から直筆の礼状とともに全日本女子バレーボールチームの選手、スタッフのサインが入った記念皿が届けられました。本来は桑名に戻って小学校と市役所を訪問する予定でしたが、日程調整がつかず実現しませんでした。しかし、これらの手紙、写真、記念皿などは現在も城南小学校の校舎1階に展示されており、諸戸美香校長によれば、今も児童たちに夢を持つことの大切さを語る時に大先輩宮下遥のことを紹介しているそうです。

<宮下遥選手からひとこと！>

本紙取材に対して宮下遥選手本人から桑名のみなさんへコメントをいただきました。

「いつも応援して下さい、ありがとうございます。岡山シーガルズで日本一という目標に向かって、覚悟をもって前進していきますので、これからもご声援を宜しくお願いします。」とのことです。今後の活躍を期待したいです。



上段：母校の城南小学校（和泉）、
中段：宮下遥選手（岡山シーガルズ提供）
下段：選手全員のサインが入った
リオデジャネイロ五輪のユニフォーム
（宮下尚彦氏提供）
左側：岡山シーガルズの練習場所
（岡山県赤磐市、山陽ふれあい公園
総合体育館、岡山シーガルズ提供）
※本紙画像の無断転載はご遠慮願います。